

テーマ：『 主体的に問題を解決する子どもを育てる理科学習指導 』

柳川市立 垂見小学校

Tel. 0944-72-2837 担当者 福山 晃



実践内容：

垂見小学校では、子どもたちが、自然の「なぜ」を主体的に追究して解決し、楽しさを実感する理科の学習を行いました。実践した主な内容は、「物質とエネルギー」領域を中心に、一人一人が課題をもち、予想や視点などの見通しを立てて観察・実験の体験を行い、結果と考察をまとめ、説明しました。また、総合的な学習の時間では、第3学年と第5学年の子どもが、地域の農家の方の支援を受けながら、種入れから、田植え、稲刈りまで米づくりの本物体験をしました。その栽培のなかで、田んぼに住んでいる生き物を継続して観察してきました。

実践成果：

「なぜそうなるか、わかった。」「自分で解決できた。」「理科は楽しい。」など子どもたちは、理科を学ぶ楽しさや自分で解決できた喜びを実感し、自分の見方・考え方を科学的なものへと高めることができました。

また、「米づくりは大変だけど、収穫できたときは、とてもうれしかった。」「田の中に、害虫だけでなく益虫もいることがわかった。」「稲作を中心とした地域で生きる子どもたちですが、これらの活動を通して、農作物を育てる喜び、そこを住みかになっている生き物と共存している自然環境のすばらしさをあらためて実感することができました。

実践ポイント：

子ども一人一人が課題をもち、予想や視点などの見通しを立てた観察・実験の体験活動と、その結果と考察をまとめ、説明する表現活動に重点をおいた指導を通して、子どもたちに自分たちで問題を解決することの楽しさ、大切さ、喜びを実感させることができました。